

(別紙様式 4)

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
函館歯科衛生士 専門学校	平成22年1月22日	奥 ひろみ	〒042-0942 北海道函館市柏木町1番60号 (電話) 0138-53-0014		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 野又学園	昭和13年9月19日	野 又 淳 司	〒042-0955 北海道函館市高丘町51番1号 (電話) 0138-53-5876		
目 的	本校は、有能な歯科衛生士として必要な知識および技能を修得させ、建学の精神に基づく知・情・意の円満にして高度に発展した職業人を育成し、もって地域歯科医療の予防、保健指導、診療補助等の向上・発展に寄与できる人材を養成することを目的とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療専門課程	歯科衛生士科	昼3年	2840 時間 106 単位	平成22年第152号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	1360 単位時間 (又は単位)	520 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	900 単位時間 (又は単位)	60 単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人	103 人	7 人	57 人	64 人	
学期制度	■前期： 4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有)・無) ■成績評価の基準・方法について 学科試験 (実技も含む) 実習評価		
長期休み	■学年始め： 4月1日 ■夏 季： 8月1日～8月31日 ■冬 季：12月下旬～1月中旬 ■学 年 末： 3月中旬	卒業・進級条件	学業成績 出席状況		
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 学生との個人面談及び保護者面談	課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有)・無)		
主な就職先	■主な就職先、業界 歯科医院、歯科関連 ■就職率 100 %	主な資格・検定	歯科衛生士国家試験受験資格 医療事務管理士認定試験 サービス・接遇検定		
中途退学の現状	■中途退学者 4名 ■中退率 3.8 % 平成27年 4月 1日在学者 103名 (平成 27 年 4月入学者を含む) 平成28年 3月31日在学者 99名 (平成 28 年 3月卒業生含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、一身上 ■中退防止のための取組 学級運営の組織的な取り組みと、担任を中心として、学生との面談を行う				
ホームページ	URL: http://www.nomata-dental.ac.jp				

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

『教務委員会』は、昭和55年の開設当初から組織されており、学科課程に関するあらゆる事項について幅広く協議されている。平成22年の3年制移行時には、カリキュラムの構成・授業評価・実習内容の検討・実習評価表新規作成等に取り組んだ。函館歯科医師会側の教務委員長と本校教務主任は、授業の経過や連絡・報告等について、委員会以外にも連絡を密にしており、学校情報の共有化を図っている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年3月31日現在

名 前	所 属
岩井 祐 司	一社) 函館歯科医師会 戸井 歯科診療所
大内 英 樹	一社) 函館歯科医師会 大内 歯科 医 院
吉村 圭 司	一社) 函館歯科医師会 ごとう 歯科 医 院
鍋谷 大 史	一社) 函館歯科医師会 鍋谷 歯科 医 院
四條 伸 之	一社) 函館歯科医師会 よじょう 歯科 医 院
中野 敏 昭	一社) 函館歯科医師会 中野デンタルクリニック
奥 ひろみ	函館歯科衛生士専門学校
渡 邊 恵 里	函館歯科衛生士専門学校
三 浦 伸 子	函館歯科衛生士専門学校
山 岸 有 子	函館歯科衛生士専門学校
永 橋 茜	函館歯科衛生士専門学校
千 葉 佳 鈴	函館歯科衛生士専門学校
渡 邊 佳 子	函館歯科衛生士専門学校

(開催日時)

第1回 平成27年 4月22日 19:30~20:50

第2回 平成27年 8月 6日 19:30~21:00

第3回 平成28年 2月 9日 19:30~21:15

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

北海道保健福祉部健康安全局の承認を得た医院・実習指導者にのみ依頼している。1年、2年、3年と、各学年の到達目標に沿った実習内容として具体的に示し実施している。各歯科医院ともに、1日7時間の実習を基本とし、期間内に総時間数を確保できること。指導者とは学生に関しての情報交換し、相互で学生教育・指導にあたる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨地・臨床実習(1年)	歯科診療室での歯科衛生士の業務を見学、体験することで歯科衛生士としての自覚を持つ。歯科治療を見学・実習することで、臨床科目の理解を深める。	吉田歯科口腔外科 他 一社) 函館歯科医師会会員 52件
臨地・臨床実習(2年)	学校内で習得した知識や技術を、臨床の場において実践できる能力を養う。特に歯科衛生士の三大業務である「歯科予防処置」「歯科保健指導」「歯科診療補綴」の理解を深め、歯科医療の実際を学び、専門職になるために意欲を高める。	
臨地・臨床実習(3年)	総合病院での口腔外科治療、有病者診療を見学することで、その特徴や患者対応について理解し、総合病院内の歯科の役割と歯科衛生士の病棟での業務について学ぶ。また、高齢者施設において基本的介護技術、口腔ケア、他職種との連携を学ぶ。口腔保健センターでは障がい者診療に際する注意事項等を学ぶ。	総合病院・口腔保健センター 老人保健施設ロイヤルヒルズ 他 高齢者施設4件

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

年間計画では全国歯科衛生士教育協議会による、新任研修から経験値に即した研修プログラム（Ⅰ～Ⅵ）に従って受講する。また、支部組織にあたる北海道歯科衛生士養成機関連絡協議会による年間2回の研修と、日本歯科衛生士教育学会の学術大会への参加を必須としている。その他、北海道歯科衛生士会、北海道歯科衛生士会函館支部における研修に関しても積極的に参加することとしている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

名 前	所 属
岩 井 祐 司	一社) 函館歯科医師会 戸井歯科診療所
大 内 英 樹	一社) 函館歯科医師会 大内歯科医院
水 口 香	一社) 北海道歯科衛生士会函館支部
坂 本 永知子	医療法人社団 おかた歯科医院

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.nomata-dental.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.nomata-dental.ac.jp> 広報誌、その他 (学校パンフレット、入試要項、学生便覧)

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			生物	生命はいかにして誕生したか、生命の単位である細胞と組織、生殖と遺伝、環境と動物の反応などを教授。	1前	30	2	○		
○			情報処理	記述統計・推測統計の基本事項と統計手法を習得する。	2前	30	2	○		△
○			英語	国際化時代にある今日、外国人患者にわかりやすく歯科治療の説明や相談に応じることが出来ることを目的とした英会話を実施する。	1前	20	1	○		
○			人間関係論	自分を理解し良好な人間関係を築く能力を養うことを目的に教授	1前	30	2	○		
○			国語表現	文字を用いて表現するという基礎を学びコミュニケーション能力を高めることを教授	1後	30	2	○		
○			心理学	心理学の概論と、実際の臨床において患者に特有な心の動きや、それに対する心理学的な対応の要点などを学ぶ	3後	20	1	○		
○			解剖・生理 (組織発生を含む)	最も基本的な学問であり正常状態における人体各部の形態・構造および機能を教授	1通	45	3	○		
○			生化学	糖質・脂質・タンパク質・無機質・ビタミンの性質を学びそれらがどのように代謝されているかを教授。	3後	15	1	○		
○			口腔組織	口腔組織の微細な構造や発生の過程・遺伝情報や成り立ちを教授。	1後	15	1	○		

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			口腔解剖	口腔付近の動脈、および静脈、リンパ節の位置、神経のつながりを教授。	1前	30	2	○		
○			歯牙解剖	解剖学的特徴と各歯牙における形態の推移を理解させ、かつ歯列と頭蓋の関係を理解させる。	1前	20	1	○		
○			口腔生理	歯・咀嚼・唾液分泌・味覚・口腔感覚・発生の生理のメカニズムを教授。	1後	15	1	○		
○			口腔生化学	歯の構成成分を学び、エナメル質、歯牙質、骨や歯の石灰化などについて学ぶ。	3後	15	1	○		
○			口腔機能	要介護高齢者摂食嚥下障害に対応し、口腔リハビリテーション能力を身につける。	2前	15	1	○		
○			病理	各臓器に現れる同じ種類の病変を理解し、かつ臓器別において各種の病変を教授する。	1後	20	1	○		
○			口腔病理	口腔領域のいろいろな組織や臓器に生じる様々な疾病の原因経過転帰と理解し、それらの病気における形態の変化を教授。	1後	15	1	○		
○			薬理	薬の必要性と安全な使い方について習得する。	1後	15	1	○		
○			歯科薬理	薬物の薬理作用とその作用機序、薬物の体内動脈。臨床的対応と副作用、毒性ならびに薬剤の取り扱い法など学ぶ。	1後	15	1	○		

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			微生物	口腔感染の多くは微生物が原因で起こる感染症であり、その病原菌の性状や発症メカニズムなどを教授	1後	15	1	○		
○			口腔微生物	う蝕と歯周疾患は、口腔常在微生物による内因性混合感染症であり如何にして発症してくるかを理解する。	1後	15	1	○		
○			口腔衛生	口腔を健康に維持するために口腔の正常状態を認識し、実際の臨床に関係した知識を修得させる。	1通	45	3	○		
○			衛生公衆衛生	感染症対策や生活習慣病対策、深刻化する環境問題など、人々の健康に関し学ぶ。	3後	30	2	○		
○			衛生行政	方角の知識概念、衛生行政のしくみ、いわゆる歯科三法と衛生行政関連の法律を学ぶ。	3後	15	1	○		
○			社会福祉	社会福祉の目的・視点を学び歯科衛生士としての専門性を考える。	3後	15	1	○		
○			歯科衛生士概論	歯科衛生士としての法的性格と業務内容の要点を理解し、医療人としての心構えの確立を教授	1前	15	1	○		
○			医療倫理	医の倫理の原則を学び職業人としての心構えや行動科学について学ぶ。	2前	15	1	○		
○			保存修復	う蝕・歯質欠損・脱灰・損耗・外傷・形成不全など硬組織欠損、等による治療及び機能回復をはかる事を修得する。	1後	20	1	○		

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			歯内療法	歯髄疾患および根尖性歯周疾患の予防と治療に対して理解し、それぞれの疾患の原因、分類を把握し治療方法を関連づけて学習する。	1後	20	1	○		
○			歯周疾患	歯周疾患とその治療について基礎的理解を深めることを目的とする。	1後	30	2	○		
○			放射線	歯科臨床における放射線の重要度を理解しDrが行うX線撮影の補助に必要な知識を身につける。	1後 2前	30	2	○		△
○			歯科補綴	クラウン、ブリッチ部分床義歯、全部床義歯の作製手順、使用する材料、器材を理解し、顎運動について教授。	2前	30	2	○		
○			矯正歯科	矯正治療に使用する装置の種類、構造、作用機序の把握、歯科矯正治療全般に渡る歯科衛生士の役割理解	2前	30	2	○		
○			小児歯科	肉体的、情緒的、精神的に成長変化している小児に対する対応及び成人となるまでの口腔内管理と口腔の正常発育を教授。	2前	20	1	○		
○			口腔外科	口腔領域の奇形や変形症、外傷、口腔粘膜疾患、歯性炎症、顎関節疾患、顎骨内外に形成される嚢胞や腫瘍等の病態を把握する。	2前	20	1	○		
○			障がい者歯科	身体的、知的、あるいは精神的な障害のある人を対象として不安やリスクを取り除く対応能力を学ぶ。	2後	15	1	○		
○			高齢者・有病者歯科	(高齢者) 歯や粘膜の清掃を目的とした器質的口腔ケアと、口腔機能の維持、回復を目的として機能的口腔ケアを学ぶ。 (有病者) 歯科治療時に注意を要する主な疾患や障がい者(児)の特性を理解し、治療に際しての注意点や対処法について学ぶ。	2後	20	1	○		△

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			先進歯科医療	インプラントや審美歯科について学び、歯科衛生士の役割を知る。	3 前	20	1	○		
○			歯周病予防法	歯周疾患を予防し、また健康を維持するために必要な知識（歯周組織の健康像、歯周疾患、その原因など）基本的技術を習得することを目標とする。歯周疾患について知識を深め、問題を発見できる能力を身につける。患者誘致実習を通じて問題を発見し、適切に対応しうる能力を養う。	1 通 2 通 3 通	240	6	△	○	
○			う蝕予防法	う蝕の発生と予防（ホームケア、プロケア）について、理解し、実践できる能力を養う。個人の Cariess リスクに合わせた予防プログラムの作成、う蝕予防について保健指導できる。	1 通	80	2	○	△	
○			保健指導論	ライフステージ別の対象者の特徴を捉え、援助できる能力を養う。口腔清掃の技術を習得。対象者の問題点を掲げ、指導計画に沿った援助を行う能力を身につける。幼稚園や小学校への健康教育を行う能力を養う。問題点を把握し、解決に導く能力を習得する。	1 通 2 通 3 通	200	5	○	△	
○			栄養指導	栄養に関する基礎知識と歯科衛生士の立場で栄養指導できるように教授。	3 後	30	2	○		
○			診療補助	個人の診療に必要な資料収集ができる。診療の流れに沿った材料・器材についての知識や取り扱いを学び、実践できる。診療において共同作業の意義を理解し、診療の円滑化・効率化に寄与する為に知識・技術・態度を習得する。臨床実習に向けての基礎知識や技術を確認し、実践できる。	1 通 2 通 3 通	240	6	△	○	
○			感染予防	院内感染予防対策や院内での組織的対応などについて学ぶ。	1 後	15	1	○	△	

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士学科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			看護学 (臨床検査含む)	高齢者の特徴や慢性疾患を学び、口腔領域疾患とどのような関連があるか、注意すべき点は何かを知る。	3通	30	2	○		
○			介護概論	保健・医療・介護について基本的な知識を学び、介護対象者のニーズ、介護者のあり方について理解する。また口腔機能向上のための訓練とその評価方法、老健施設における歯科衛生士の業務内容について学ぶ	2後	15	1	○		
○			介護技術	基本的介護技術と病気や怪我に対する正しい手当の仕方を学ぶ。様々な実技・演習を通しコミュニケーションをとりながら人と関わることの大切さを知る	2後	40	1		○	
○			臨地・臨床実習	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の役割、歯科医院の業務を知る。 ・机上での学習を臨床現場で活かす。 ・幼稚園や小学校での自己学習を具現化させる ・臨床対応能力を体得する。 ・障害者・高齢者への対応能力を高める 	1通 2通 3通	900	20			○
○			美術	造形表現(視覚に働きかける)に興味をもち、創意工夫し表現の喜びや、完成の喜びを味わうことを学ぶ	1後	20	1			○
○			接遇・マナー	サービス・接遇検定3級合格を目指し、接遇マインドやおもてなしの基本的な知識を学ぶ。	2前	15	1	○		
○			体育	各体育種目の運動特性を促え、歯科衛生士として必要な体力の増進と精神面の充実を図ることを学ぶ。	1通	40	1			○
○			歯科医療事務	社会保障制度の中で、医療保障に関して、医療保健の種類、保健診療のしくみ、歯科診療関係書類について学ぶ。	3通	30	2		○	
○			総合講義	国家試験受験に向けて、科目毎の復習や対策補講を行う	3後	120	4	○		
合計			52 科目		2840時間 (106 単位)					